



菊地支部長 木雅博 会長の鈴 建設業協 会の方へ



清掃活動を通じて

も及んだ。回収したゴミは市原土木事務所を持ち込まれ、袋ごと放り込まれ分別

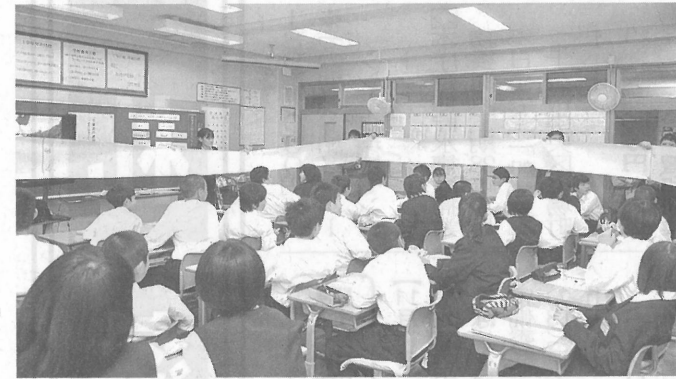


者目線に立って講義し、企業にとって本当に必要な対策を指導。▽マイナバーの概要▽具体的な対策▽従業員等からの取得方法▽建設業とマイナバーの4項目を分

建設人が現場を語る

「若い力が必要」講師に根本氏(東邦建設) C C I ちば

県魅力ある建設事業推進協議会(C C I ちば)が主催する今年度第4回目の「建設業」に関する出張授業が13日、四街道市の四街道中学校で開催された(写真)。今回の授業には、ゲスト講師として東邦建設(株)の根本隆彦工事長が登場。自社で進めている建設現場を紹介し、「一つの現場には多くの人が携わっている。きょうの授業をきっかけに建設業の魅力を知ってもらいたい」と優しく語りかけた。



今回の出張授業もこれまで同様、C C I ちばとN P O 法人企業教育研究会が開発したプログラムに基づき、江戸時代から現代まで続く新川(八千



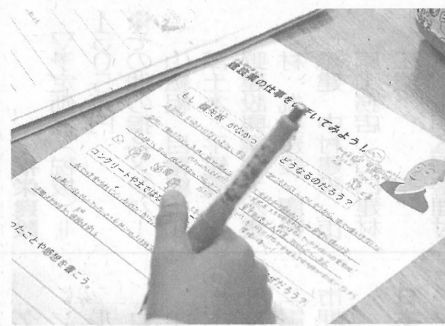
ゲスト講師の根本工事長(左)と市澤氏

の長さや重さも解説。生徒達は鋼矢板の想像以上のスケールに「すごい」と驚きの声を上げながら、実際に現場へ打ち込まれる様子を流した映像を食い入るように見ていた。



進行役の森下氏

授業では、30近くの種類の建設業にはあることや、河川のほか舗装や橋梁、上下水道、空港などの土木工事、公園建設などの造園工事、校舎



ワークシートに感じたこと等を書き込む

鬼怒川堤防決壊後は7週間という短時間で復旧したことも紹介。

同研究会では、世間一般の建設業に対する関心の低さから間違った認識や3Kのイメージを持つことを懸念するともに、業界関係者の「子どもたちに建設業の魅力を理解してもらいたい」という強い気持ちにも共感。建設業の真の姿を子どもたちに見せることで、日常生活や街づくりに欠かせない存在であるだけでなく、自然災害発生時等にも人知れず活躍していることを理解してもら

現在の河川工事で用いられる「鋼矢板」と「ごマット」を紹介。根本氏は安全面や作業効率性、自然環境へ配慮するため、これらが使われていることを説明するとともに、それら

今後、千葉市(土気小学校、東金市(福岡小学校)、浦安市(日の出小学校)、柏市(風早北部小学校)、流山市(長崎小学校)でも開催する予定だ。

法検討

基本計画では整備手法について、全面建て替え(旧庁舎及び新庁舎の建て替え)、全面改修(旧庁舎及び新庁舎の補強・改修)、旧庁舎建て替え・新庁舎改修(旧庁舎の建て替え、新庁舎の補強・改修)の3パターンについて概算工事費の比較検討を行い、旧庁舎建て替え・新庁舎改修が最も結果をもとに、庁舎改修検

し、07年度に「新庁舎耐震診断・新庁舎・旧庁舎改修調査」を行った。この検討結果をもとに、庁舎改修検

舎と別棟で建て替える案など4案を検討。建て替え庁舎と既存新庁舎を接続して一体的に利用できる、既存庁舎北側駐車場に新庁舎を整備する案を採用。

を行う場合には、建築基準法の規定により増築面積に上限が課せられ、既存庁舎面積約8908・47㎡の2分の1の約4454・23㎡を建て替え可能面積とした。これに既存新庁舎の面積6196・88㎡を足して、庁舎の上限面積を1万651・11㎡と設定した。

既存建物は、ほかにRC造延べ1164・33㎡の保健センター、S造延べ217・50㎡の車庫、S造延べ474・99㎡の書庫などがある。敷地面積は約2万5160㎡。旧館及び議場棟は倉形建設、新館は東急建設が施工(設備一括)。設計はすべて榎本建築設計事務所が担当。

結果、施の補強は率的に進

結果、施の補強は率的に進

結果、施の補強は率的に進

結果、施の補強は率的に進

結果、施の補強は率的に進

結果、施の補強は率的に進

結果、施の補強は率的に進

四街道中出張授業

CCIちばゲスト講師に根本氏

千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)は、内海秀幸会長)は13日、四街道市立四街道中学校において「千葉県の建設業の仕事」をテーマとする出張授業を実施した。小学校の社会科学習や中学校のキャリア教育など、幅広い

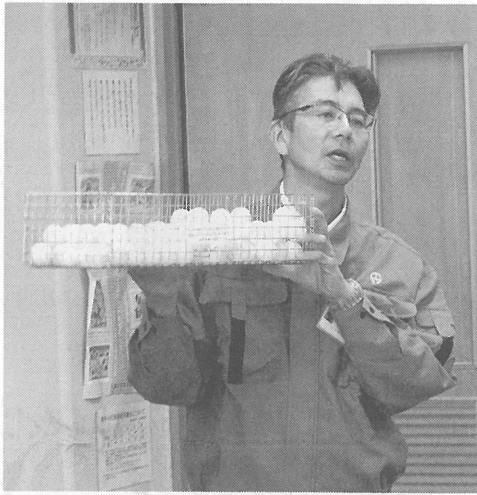
事々建設現場をのぞいてみよう!」をテーマとする出張授業を実施した。小学校の社会科学習や中学校のキャリア教育など、幅広い

狙いに対応するもの。CCIちばでは、年度内に県内14校での出張授業を計画。これらの授業開発と実施業務は、企業と教育の連携に

ついでに専門性と実績を有する「NPO法人企業教育研究会」(代表理事「藤川大祐・千葉大学教育学部教授)に委託。同研究会の森下準也氏が進行を務め、ゲスト講師(解説)として「地域の建設業」である東邦建設(株)の根本隆彦工務長、同社の市澤勇樹氏をサポートとして迎えた。

この日の授業は1学年62人が対象。印旛沼の水害と闘ってきた先人の歴史を振り返るとともに、印旛放水路で現在も続く工事の様子など、児童たちは千葉県の水害の取り組みを通して、暮らしを支える建設業について学んだ。

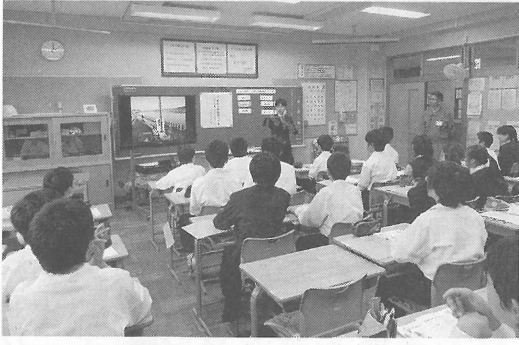
授業では、児童たちに「こわれた川岸は、だれがどうやって直すのでしょうか」と問いかけ。映像で川を辿りながら、江戸時代から苦しんできた新川、花見川(印旛沼)の洪水の問題を想起。印旛沼干拓を最初に試みた人物として知られる染谷源右衛門たちの悲願や洪水の凄さ、鋼矢板の長さや重さの意味と取り扱う技術力、かごマットの環境に配慮したしくみを学んだ。また、様々な工夫や技術開発により、人々の役に立つ建設業と、その仕事に従事する人の大切さや重要な役割に気付かせることも「現在の新川の工事の様子」を紹介。



根本講師



根本講師と市澤氏



授業の最後に根本講師は、自身が現在、市澤氏らとともにを行う工事現場を紹介。「今の建設業は男性ばかりでなく、女性も進出し易いように国が政策を行い、活躍の場を広げている」と、現場で働く女性についてスライドを用いて解説。「建設業は『調査をする人』『設計をする人』『施工・管理をする人』など様々な職種がある。是非、ものづくりに興味のある人は将来の職業選択の一つとして、建設業に目を向けてもらえたら嬉しい」と呼びかけ、授業を終えた。

授業の最後に根本講師は、自身が現在、市澤氏らとともにを行う工事現場を紹介。「今の建設業は男性ばかりでなく、女性も進出し易いように国が政策を行い、活躍の場を広げている」と、現場で働く女性についてスライドを用いて解説。「建設業は『調査をする人』『設計をする人』『施工・管理をする人』など様々な職種がある。是非、ものづくりに興味のある人は将来の職業選択の一つとして、建設業に目を向けてもらえたら嬉しい」と呼びかけ、授業を終えた。

も

工法②セメント安定処理・大粒径③路上表層再生工法を取り上げた。これらの報告説明は、①を東亜道路工業(株)関東支社の稲岡尚毅・技術センター長、②を(株)NIIPPO千葉統括事業所の山田徳雄・試験主任、③を鹿島道路(株)東京支店工事部の武藤博之・技術試験所長が務めた。

としては、県土整備部との意見交換会等を通じて『遮熱化舗装』を推進していくという方針で、来年度はその効果を高める実質的な調査をしていきたい」との考えを示したうえで「特に公共施設の駐車場などにおいては、ヒートアイランド現象を極力抑えるという役目があるのではないかと思う」と強調。「本日はみなさんの一助となる研修会にしてもらいたい」と述べ、あいさつとした。

0人以上という沢山の方々を受講し、多くの知識を深めて頂いた」と報告。また「道路は国民生活に密着した欠かすことの出来ない社会資本であり、その社会的要請は交通の安全性は言うまでもなく、コスト削減や環境保全などが多様化している」と述べた氏は、今後の舗装施工について「より深く幅広い専門的な技術が求められる。工事の適正な品質を確保するうえで、企業の技術力の向上に加え、我々道路管理者にも技術の研鑽が欠かせない」と強調。

長が現在、国交省で力を入れている「担い手の確保・育成」と「生産性の向上」の2つのキーワードを紹介。このうち、担い手の確保・育成については「昨年、本省で設置した建設産業活性化会議の場においても、若手や女性など色々な方に建設業の魅力を感じてもらい、如何に入職してもらうかをテーマに取り組んでいる」と説明。具体的な動きとして、週休二日制の適応や発注の平準化を挙げ「どうしても工事は、年度始めが少なく秋口に増えるという波が大きいこともあるので、各業界の意見を聞きながら、出来るだけ平準化するように、事務所でも発注の仕方の工夫に繋がるような議論を進めている」と弁。それらについては「今後も地域や各業界から声を上げて頂き、ともにタッグを組んで進めていきたい」との考えを示し、あいさつを結んだ。

授業の最後に根本講師は、自身が現在、市澤氏らとともにを行う工事現場を紹介。「今の建設業は男性ばかりでなく、女性も進出し易いように国が政策を行い、活躍の場を広げている」と、現場で働く女性についてスライドを用いて解説。「建設業は『調査をする人』『設計をする人』『施工・管理をする人』など様々な職種がある。是非、ものづくりに興味のある人は将来の職業選択の一つとして、建設業に目を向けてもらえたら嬉しい」と呼びかけ、授業を終えた。

「遮熱化舗装」導入 実質的な調査を

研修に先立ち、主催者を代表して船越会長は、20年の東京五輪・パラリンピックにおける競技会場として、幕張メッセ周辺を使用することに言及。「我々

引き続き、県を代表して県県土整備部の滝浪善裕・災害・建設業担当部長は、同研修会について「これまで舗装技術の高度化や新工法に対応出来る人材の育成を通じて、県土の発展のために欠かすことの出来ない社会資本である道路整備に大きく貢献してきた」と述べたうえで「本年度もこれまで2回の研修で延べ20

この日の研修に向けては「様々な知識を習得し、その成果を発揮することで、みなさんのさらなる活躍を期待する」とエールを送り、あいさつに代えた。

授業の最後に根本講師は、自身が現在、市澤氏らとともにを行う工事現場を紹介。「今の建設業は男性ばかりでなく、女性も進出し易いように国が政策を行い、活躍の場を広げている」と、現場で働く女性についてスライドを用いて解説。「建設業は『調査をする人』『設計をする人』『施工・管理をする人』など様々な職種がある。是非、ものづくりに興味のある人は将来の職業選択の一つとして、建設業に目を向けてもらえたら嬉しい」と呼びかけ、授業を終えた。

授業の最後に根本講師は、自身が現在、市澤氏らとともにを行う工事現場を紹介。「今の建設業は男性ばかりでなく、女性も進出し易いように国が政策を行い、活躍の場を広げている」と、現場で働く女性についてスライドを用いて解説。「建設業は『調査をする人』『設計をする人』『施工・管理をする人』など様々な職種がある。是非、ものづくりに興味のある人は将来の職業選択の一つとして、建設業に目を向けてもらえたら嬉しい」と呼びかけ、授業を終えた。



建設業担当部長、松浦・千葉県

建設業担当部長、松浦・千葉県

建設業担当部長、松浦・千葉県

建設業担当部長、松浦・千葉県

新機種導入でさらにパワーアップ!! HF80H CRP-120FLR TOW3 ROLD

お試しキャンペーン・パスワードお申込み受付